

<合歓のうた>

— 様々な顔 —

先日、卒園生（１年生）の同窓会が行われました。以前は運動会に小学生の種目がありましたが、コロナ禍でできなくなり卒園以降も何かしらの形で繋がりたい。との思いでの初の取り組みでした。当日は、一人ひとり近況報告をしてもらったり皆でゲームをして楽しいひとときとなりました。入学してから１ヶ月ほどでしたが、顔つきや発言はすっかり小学生で、学校での生活や学びが姿に表われているのだなぁと感じました。

折りしも幼稚園では保護者の皆様のご協力のもと親子遠足が行われ、お父さん、お母さんと一緒にいる時の子どもの姿は園で見せる姿とはまたちょっと違って「へえ～、お家ではそんなのかな？」と思いました。

お父さん、お母さんも同じ様に我が子が担任やお友達と関わる姿にまた違う一面を感じられたのではないのでしょうか。思えば私自身も職場、家庭、友人とそれぞれでの顔は少し違うのかもかもしれません。子どもも家庭～幼稚園～小学校。。。と様々な経験をすることで世界が広がります。その時々々の姿は感心することであったり、時に眉をひそめることであるかもかもしれません。それは成長の証なのです。

私達大人は、時に共感し、時に諭し、時に見守り、慌てず構えていきたいですね。

